

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 23 年 9 月 1 日 (2011.9.1)

【公表番号】特表 2010-536618 (P2010-536618A)

【公表日】平成 22 年 12 月 2 日 (2010.12.2)

【年通号数】公開・登録公報 2010-048

【出願番号】特願 2010-521908 (P2010-521908)

【国際特許分類】

B 4 2 D 5/00 (2006.01)

【F I】

B 4 2 D 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 7 月 15 日 (2011.7.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

長手方向軸を有するシートディスペンサーであって、

前記長手方向軸を横断して配置されて中央に位置するスロットを有し、前記スロットが前記長手方向軸に平行に測定した幅寸法を有する、上部部材と、

前記上部部材に少なくとも一時的に取り付けられてハウジングを形成する下部部材と、
シートの積み重ね体であって、前記積み重ね体はその主軸に沿って長さ寸法を有し、前記積み重ね体の各シートは、折りたたみ構成で互いに取り外し可能に接着されて、前記ハウジング内に配置され、各シートが、タブ端部、接着端部、対向する第 1 及び第 2 の表面、並びに、各シートの前記第 2 表面の前記接着端部上に配置される再付着性接着剤のコーティングであって、前記接着剤が前記第 2 表面の約 45% ~ 55% を被覆するコーティングを有するシートの積み重ね体と、を備え、

前記積み重ね体の最下部のシートは、前記ハウジングの前記下部部材に取り付けられておらず、前記スロット幅は前記積み重ね体の長さの約 1% ~ 10% である、シートディスペンサー。

【請求項 2】

長手方向軸を有するシートディスペンサーであって、

前記長手方向軸を横断して配置されて中央に位置するスロット、並びに対向する第 1 及び第 2 端壁にそれぞれ取り付けられる第 1 及び第 2 上部壁を有し、前記スロットが前記長手方向軸に平行に測定した幅寸法を有する、上部部材と、

前記上部部材に少なくとも一時的に取り付けられてハウジングを形成する下部部材と、
シートの積み重ね体であって、前記積み重ね体はその主軸に沿って長さ寸法を有し、前記積み重ね体の各シートは、折りたたみ構成で互いに取り外し可能に接着されて、前記ハウジング内に配置され、前記積み重ね体の各シートが、タブ端部、接着端部、及び対向する第 1 及び第 2 の表面、並びに、各シートの第 2 表面の前記接着端部上に配置される再付着性接着剤のコーティングであって、前記接着剤が前記第 2 表面の約 45% ~ 55% を被覆するコーティングを有するシートの積み重ね体と、を備え、

前記ディスペンサーは、第 1 側端壁から第 2 側端壁まで測定した際に、前記積み重ね体の長さの最大 110% である長さを有し、

前記積み重ね体の最下部のシートは前記ハウジングの前記下部部材に取り付けられてい

ない、シートディスペンサー。

【請求項 3】

前記再付着性の接着剤が、各シートの前記第 2 表面の表面積の約 50 % を被覆する、請求項 1 又は 2 に記載のディスペンサー。

【請求項 4】

各シートに関し、前記タブ端部及び前記接着端部は、前記上部部材の前記スロットのほぼ真下に整列されている境界面で接する、請求項 1 又は 2 に記載のディスペンサー。

【請求項 5】

前記スロットが、前記シートの積み重ね体の長さの約 1 % ~ 5 % である幅を有する、請求項 1 又は 2 に記載のディスペンサー。